

指導活用技術
分類名〔経営〕

指20	水田経営体が加工用ばれいしょ導入を検討するための 試算シート
-----	-------------------------------------------

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

水田経営体が、加工用ばれいしょの導入について、収支や労働力の面から経営計画を検討できる試算シートを作成した。

普及対象：露地野菜を導入する土地利用経営体
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

園芸生産額の拡大に向けては、水田を活用した露地野菜の導入・拡大が不可欠であり、加工用ばれいしょ産地化に向けた取り組みが現在県内各地で検討されている。

そこで、水田経営体が、加工用ばれいしょ導入について検討する際に使用できる試算シートを作成したので、指導活用技術とする。

2 指導活用技術

- (1) 本試算シートは、作目は水稲、小麦、大豆、加工用ばれいしょ等で構成されている。シート内の構成員労働力、経営規模（面積）、10a当たり収量、kg当たり単価、畑作交付金、水田交付金等、借地料、雇用労賃単価、加工用ばれいしょ専用作業機賃借料、加工用ばれいしょ倉庫選別料（JA倉庫等）等を実態に応じて変更して、収益性を検討することができる（表1）。ばれいしょの10a当たり収量とkg当たり単価の初期値は、当面の目標として3,000kg/10aと43円/kgとしている。
- (2) 想定する生産規模、必要とされる投資、賃借による機械利用、必要労働時間や作業の繁閑、雇用の導入、交付金等の条件にあわせて収益性を検討することが出来るため、導入する場合の経営計画を具体的に検討できる。

3 利活用の留意点

- (1) 水稲・麦・大豆の使用データは、「大規模土地利用型露地野菜経営モデルの策定」、県農業経営基盤強化基本方針に係る営農類型（平成27年度農業振興課）、「低コスト大規模水田営農の手引き」（平成29年5月、宮城県農業・園芸総合研究所、古川農業試験場）のデータを参考としている。
- (2) 作成したファイルは、メインシート、各部門の旬別労働時間、各部門毎の変動費、機械施設台帳のシートからなるMicrosoft Excelブック形式（400KB程度）で、宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部にて入手可能である。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部 022-383-8119）

4 背景となった主要な試験研究

- (1) 研究課題名及び研究期間
「大規模土地利用型露地野菜経営モデルの策定（平成30～令和2年）」
- (2) 参考データ

表1 加工用ばれいしょ導入を検討するための露地野菜導入試算シート（試算例）

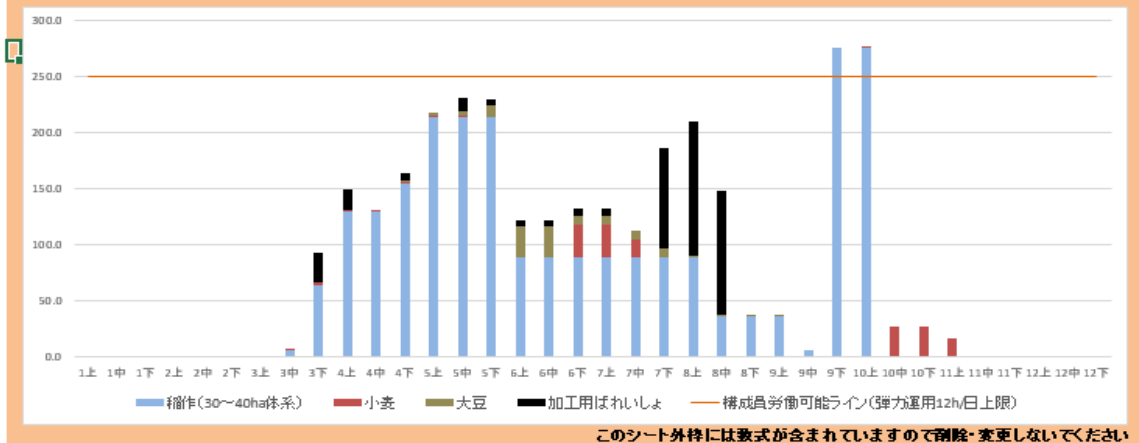
水田経営の露地野菜導入試算シート		構成員労働力 < ■ > 3.0			
作目	水稲 (移植)	小麦	大豆	加工用 ばれいしょ	飼料とうもろこし (畜産農家委託)
経営規模(面積)	30.0ha	6.0ha	6.0ha	3.0ha	3.0ha
10a当たり取量	480kg	450kg	180kg	3,000kg	< ■ >
kg当たり単価	260円	41円	136円	43円	< ■ >
畑作交付金(数量払/kg)		110円	165円		
水田交付金等(10aあたり (その他助成金等含む))		35,000円	35,000円	35,000円	35,000円
10a売上(含畑作交付金数量払)	124,800円	67,950円	54,180円	129,000円	
10a水田交付金等		35,000円	35,000円	35,000円	35,000円
10a変動費(生産資材等)	41,551円	21,797円	32,618円	96,797円	12,000円
10a固定費(機械施設費等)	42,998円	46,504円	30,559円	24,311円	
10a労働時間	8.1h	2.6h		1.8h	13.8h
粗収益(含交付金等)	37,440千円	6,177千円	5,351千円	4,920千円	1,050千円
変動費(含機械賃借料)	12,465千円	1,308千円	1,957千円	2,904千円	360千円
固定費(所有機械施設等)	12,899千円	2,790千円	1,834千円	729千円	
借地料	3,240千円	720千円	720千円	360千円	360千円
雇用労賃	42千円	3千円	2千円	7千円	
利益・構成員所得	8,793千円	1,356千円	838千円	920千円	330千円
合計	12,237千円				

水稲自作地 < ■ > 3.0ha 借地料水準 < ■ > 12,000円

雇用賃金単価 < ■ > 1,000円/h

加工用ばれいしょ移植・収穫作業機 賃借料 < ■ > 14,000円/10a (ポテトプランタ, チョッパー, ポテトハーベスタ)

加工用ばれいしょ倉庫選別料(JA倉庫等) < ■ > 5円/kg



このシート外枠には数式が含まれていますので削除・変更しないでください

<基本的な活用方法>

- 水稲20～30ha+麦・大豆の基本的な機械施設(固定費台帳), 生産資材・流通経費(収支算定表), 旬別労働時間から計算されている。各々必要に応じ経営の実態にあわせて, 機械設備や資材費等, 必要労働時間を加除修正可能である。
- 機械装備等が対応可能な範囲内であれば, 生産面積や単収, 単価等をメインシートのスクロールバーでスライドさせて試算可能である。
- 水田交付金等は, 地域協議会において「産地交付金」や「戦略作物加算」等が設定されている場合は実態に応じて加算する。

<雇用労賃について>

- 構成員労働力(1人あたり年間2千時間)は, 旬別に1.5倍の弾力運用が可能とし(農繁期の作業時間を1日12時間を上限に設定), 必要労働時間が上回る旬に雇用労賃が発生する計算としている。(担い手経営モデルと同じ計算方法である)。
- 各部門の雇用労賃の額は, 部門毎の労働時間の比率で総額が配分される計算となっている。

<加工用ばれいしょ移植・収穫機装備等について>

- 移植・収穫機の賃借, 倉庫選別に対応しているJA生産部会の事例を基に, 賃借料を計算する設定としている。
- 機械取得を想定する場合は, 中古農機具市場での調達等も含めて固定費台帳に追加・修正して試算する。

- (3) 発表論文等 なし
- (4) 共同研究機関 野菜部, 園芸振興室, 農業改良普及センター, カルビーポテト(株)